

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（1月分）

留学先大学：Vytautas Magnus University

氏名：金子 のの子

【はじめに】

みなさんこんにちは！国際地域学部・グローバルコース2年生の金子 のの子です。今年の1月から、リトアニアのヴィータウタス・マグヌス大学に留学しています。福井大学としては初めての留学先であるため、大学の雰囲気や現地生活がどのようなものなのかを知らないまま留学がスタートしました。なので、私自身これから始まる生活にとってもワクワクしています。この報告書では写真と共に、留学先の大学や授業の様子、現地での生活、そして、日々生活する中で私が感じたことをお伝えできればと思います。



“Baltic Way”
のスタート地点にて

【リトアニアってどんな国？】

周りから留学先のことを聞かれ、リトアニアだと答えると大抵の人が「リトアニア???」となります。まだまだ知られていないリトアニアをみなさんに知ってもらうため、ざっと紹介します！

◆今年で独立100周年!!

リトアニアは、エストニア、ラトビアに並ぶバルト三国の一つで、285万人ほどの人口を抱える国です。1918年にロシア帝国から独立するのですが、第二次世界大戦時にソビエト連邦とドイツに侵略され、1990年によりやうく独立を回復します。2018年の今年2月16日に、独立100周年を迎え、各地でイベントが行われる予定です。そして、1月には、安倍首相がリトアニアに初訪問しました。その報道を目にした人も多く、リトアニアを少し身近に感じたかもしれません。

◆大統領は「鉄の女」!?

リトアニアの大統領は2009年からダリア・グリボウスカйтеという女性が務めています。彼女は、空手の黒帯を有し、リトアニア語のほかにも英語、ロシア語、ポーランド語、フランス語を話せる多才な人で、「鉄の女」とも呼ばれるベテラン政治家です。



news.biglobe.ne.jp

【ヴィータウタス・マグヌス大学について】

首都のヴィリニユスの次に大きい都市であるカウナスに、私が通う国立大学があります。1922年に「リトアニア大学」として設立され、その後1930年に、15世紀のリトアニアの



英雄であるヴィータウタス大公の名前をとって「ヴィータウタス・マグヌス大学」になります。人文や経営経済、自然科学、美術学部など10つの学部があり、私が所属するのは政治科学外交学部です。キャンパスは、学部ごとで分かれており街の中に点在しています。なので、歩いていけるところもあったり、バスで20分かけて移動しなければならないキャンパスもあります。幸い、私が利用するキャンパスは寮から歩いて15分の距離にあり

ました。キャンパス内は意外とこじんまりしていて、図書館があり、各階に講義室があります。大学内に食堂がないので、お昼は寮に戻って食事するか、近くの大通りにあるパン屋さんやカフェなどに行きます。

【新生活のスタート】

1月20日のお昼に関西国際空港を出発し、ヘルシンキ経由でヴィリニュス国際空港へ。乗り継ぎのヘルシンキ空港では、なんと！世界の果てまでイッテQメンバーの大島さん、オカリナさん、ガンバレルーヤに遭遇し、温泉同好会がだいすきな私としては、ものすごくテンションが上がる嬉しい出来事でした。乗継便の遅れもあり、ヴィリニュスに着いたのは、現地時間の夜8時。そこからタクシーで駅、そしてバスで1時間半、ようやくカウナスに到着しました。私と共に留学する佐藤誠くんのメンター(大学生活をサポートしてくれる現地学生)がバス停まで迎えに来てくれて、寮まで案内してくれました。日本を出発し24時間以上が経っていたため、へとへとで、無事に着けたという安堵感と共にその日は眠りにつきました。



バルティヤ寮

◆寮生活

大学から徒歩15分にある大学寮 Baltija(バルティヤ)。ソ連時代にホテルとして使われていた建物を利用しているため古さを感じさせるような趣があります。玄関を入ってすぐのところになぜか卓球台が一台置いてあり、卓球を楽しんでいる学生の姿をよく目にします。



私の部屋は二人部屋で、日本人学生と一緒にです。部屋には、机、ベッド、クローゼット、冷蔵庫、バスルームがあります。各階にキッチンルームが2つずつあり、階のみんなで共有して使います。寮に400人くらい住んでいるのに、ランドリーがまさかの3つしかなく、そのうち動いているのは真ん中の1つという衝撃の事実。洗濯するのに一回3ユーロ(約390円)かかるので、大抵の人はルームメイトと一緒に洗濯をします。

ベットシーツや枕、ブランケット類は、寮から支給されるのですが、数が足りない場合支給されないため、私は近くにある Akropolis(アクロポリス)というショッピングモールでブランケットや卓上ライト、浄水器など、身の回りで必要なものをそろえました。

◆オリエンテーションウィーク

1月24日～31日がオリエンテーション期間で、大学や授業についてたくさんの説明を受けます。イベントやパーティーを通して、ほかの留学生と交流する機会があり、出身がトルコ、スペイン、スロバキア、ウクライナ、中国、韓国など本当にさまざまなで驚かされます。多様な国籍をもつ人たちと1年間過ごせることに喜びを感じると同時に、自分の英語のつたなさを認識して、もっと頑張らなきゃなと思う日々です。27日には、カウナスからバスで2時間ほどかけたところにあるトラカイとヴィリニユスのトリップに参加し、夜のヴィリニユスの街がとても美しく印象的でした。



ヴィリニユス大聖堂

◆次回は...

2月の報告書では、独立100周年のイベント、本格的に始まった授業や時間割について紹介できればなと思います。